

## 令和3年度 中央卸売市場運営方針

(市場長：伊東 一哉)

## ◆計画

## 区・局の目標（何をめざすのか）

中央卸売市場は、安全・安心な生鮮食料品の安定供給を行う流通の拠点施設であるとともに、大阪経済における産業基盤としても重要な存在であり、大都市の基本インフラとしてその役割・機能を十分に発揮し、市民・消費者の食生活の安定に資する。

## 区・局の使命（どのような役割を担うのか）

適正かつ健全な市場運営の確保に向けて、官民が各々の役割と責任を認識し、連携のうえ、公共性の確保、経営の安定化、運営の効率化、競争力の強化などの課題に取り組み、中央卸売市場が担っている社会的役割・機能を安定的かつ持続的に発揮していく。

## 令和3年度 区・局運営の基本的な考え方（区・局長の方針）

安心・安全な生鮮食料品を安定的に供給するという中央卸売市場の社会的役割・機能を持続的に発揮していくため、経営基盤の強化をめざして、民間活用の拡大による市場の管理運営の効率化や、市場内事業者と一体となって市場機能の向上・競争力の強化に向けた取り組みを進める。

## 重点的に取り組む主な経営課題（様式2）

経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題1 経営基盤の強化】</b> 経営健全化基準達成後も依然として多額の累積欠損金を計上するなど厳しい状況であり、収支改善に向けた取り組みを積極的に行っていく必要がある。 市場をめぐる状況は厳しさを増しているが、生鮮食料品を安定供給する流通の拠点施設として、さらには大都市の基本インフラとして、今後ともその役割・機能を発揮していけるよう経営基盤の強化を図る必要がある。	<b>【1-1 経営の健全性の確保】</b> 中央卸売市場事業会計において引き続き経営の健全性を確保するため、「収支の単年度黒字化」と「資金不足比率を20%未満に抑制」を目標とした取り組みをすすめる。

## 主な具体的取組（3年度予算額）

**【1-1-1 収支見込に基づく取組】**  
 令和3年3月に作成した「大阪市中央卸売市場経営計画2021」（令和3年度から令和12年度までの中央卸売市場事業会計の収支見込み。以下、「経営計画」という。）を達成するため、引き続き経営の健全性を確保するための各種取組を実施する。[予算額 一円]

経営課題の概要	主な戦略
<b>【経営課題2 市場機能の強化】</b> 中央卸売市場は安心・安全な生鮮食料品を安定的に供給する役割を担っており、その流通の拠点施設として、さらには大都市の基本インフラとして、今後ともその役割・機能を発揮していけるよう市場機能の強化を図る必要がある。	<b>【2-1 市場の基本機能の強化】</b> 市場の有する基本機能を強化し、市場競争力の強化を図る  <b>【2-2 市場の社会的役割の認知度向上】</b> 卸売市場の役割・機能についての市民の理解を深める

## 主な具体的取組（3年度予算額）

**【2-1-1 本場機能の強化】**  
 本場整備事業の推進 [予算額 255,000千円]  
**【2-1-2 南港市場整備事業の推進】**  
 南港市場施設整備事業の推進 [予算額 5,495,224千円]  
  
**【2-2-1 市場のPR及び食育の推進】**  
 PR事業や情報発信等に取り組み、市民に対し卸売市場に対する理解度向上の機会を提供する。 [予算額 7,000千円]

「市政改革プラン3.0」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
—	—

## ◆自己評価

## 1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

・安全・安心な生鮮食料品を安定的に供給するという中央卸売市場の社会的役割・機能を安定的かつ持続的に発揮していくため、経営基盤強化をめざして、民間活用の拡大による市場の管理運営の効率化と、市場内事業者と一体となった市場機能の向上や競争力の強化に取り組んできた。

## 【本場・東部市場】

・設備管理業務の委託範囲拡大等による業務の効率化(ESCOの導入や長期契約の締結等)など、管理運営経費の削減に取り組んだ。

・経営の健全性の確保については令和2年度に策定した「経営計画」に基づき取組みを進め、令和3年度については資金不足は生じない見込みであり、引き続き、資金不足を生じさせないための取組みを進めていく。

・本場においては、市場内事業者の競争力強化に資するコールドチェーン対応のための加工施設の確保など、機能強化をめざして、開設者が基幹施設(屋根付き買荷保管積込所)の整備に取り組む、仲卸事業者がそのニーズに応じた保冷加工施設の設置工事を行うという、官民の役割分担のもとで整備を進めている。

## 【南港市場】

・南港市場の経営戦略である「南港市場将来戦略プラン」に基づき、施設の老朽化・狭隘化への対応や更なる衛生水準・機能の向上を図るための大規模施設整備に向け、令和2年度に南港市場施設整備工事に着工しており、令和6年度の事業完了をめざして施設整備事業を推進していく。

## 解決すべき課題と今後の改善方向

・中央卸売市場は安全・安心な生鮮食料品を安定的に市民に供給する役割を担っており、引き続き、その役割・機能を発揮していけるよう市場の活性化を図る取組を、卸・仲卸など市場内事業者と連携して積極的に進める必要がある。

## 【本場・東部市場】

・改正卸売市場法施行後も引き続き中央卸売市場が高い公共性を果たしてしていくため、市場の活性化を図る取組を積極的に進める必要がある。市場運営のあり方については、新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、飲食店等を取引先とする市場内事業者は非常に厳しい経営状況に陥っており、その経営回復の状況を十分考慮しながら検討を進めていく。

・中央卸売市場事業会計については、経営健全化基準達成後も依然として厳しい状況にあり、未利用施設の活用等、収支改善に向けた取組を積極的に行っていく。

・本場機能強化に向けた買荷保管積込所の整備については、工程管理を徹底し着実に推進していく。

## 【南港市場】

・南港市場の施設整備事業については、工程管理を徹底し着実に推進していく。